

## イベント・体験情報 ※詳細は、ホームページをチェックしてください。

### 山梨県装身具協会「甲府ジュエリーファクトリーセール」(入場無料)

山梨県内のジュエリー団体の一つである山梨県装身具協会が下記日程でファクトリーセールを開催します。半期に一度、ジュエリーメーカーが特別価格で直販する数少ない販売会です。

毎回好評いただいている無料ジュエリークリーニングや専門家による無料鑑別、ハンドエステなども実施する予定です。

日時：平成 27 年 11 月 28 日 (土)～29 日 (日)  
10:00～18:00 ※最終日は 17:00 終了

場所：山梨県防災新館1階オープンスクエア  
(山梨ジュエリーミュージアムの隣)



### 期間限定特別体験プログラム

山梨ジュエリーミュージアムでは、クリスマスや成人式、バレンタインデーやホワイトデーなどイベントが多いこの時期にあわせて、期間限定の特別体験プログラムを行います。期間によって体験内容が異なりますので、ご確認の上、当館ホームページよりお申し込みください。

※詳細は、下記アドレスよりアクセスしてください。

[http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/newinfo/taiken\\_thismonth.html](http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/newinfo/taiken_thismonth.html)



ハートペンダント



研磨+石留め体験

#### 第1回「ハートペンダント」

実施期間：平成 27 年 12 月の土日祝日  
(但し、12月26日、27日を除く)

実施内容：ペンダント制作

#### 第2回「研磨+石留め体験」

実施期間：平成 28 年 1 月、2 月の土日祝日  
(但し、除外日あり)

実施内容：リング・ペンダント・ラベルピン制作

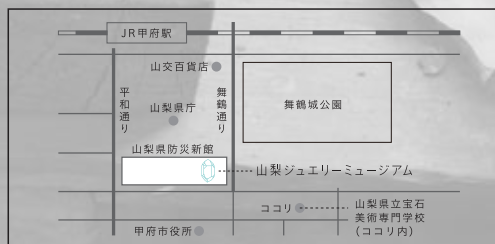
### 山梨ジュエリーミュージアム

開館時間：午前10時～午後6時(最終入館は、午後5時30分まで)  
休館日：火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始(12/26～1/1)  
：その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料 無料

駐車場：92台(山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料)

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁内)  
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



Yamanashi  
Jewelry  
Museum

宝石研磨士

山本 武

Vol.3



craftsman jewelry

# 研磨＝「アート」

宝石には、さまざまなカットが存在する。原石一つ一つが持つ特徴を最大限に活かし、より美しく魅力的に見せるためだ。複雑で幾何学的なカットを作り上げるには、原石の特性や光の反射、屈折を知り尽くし、輝きを引き出す知識と技が必要となる。山本武は、「シェルカット」「ナチュラルカット」「クロスオーバーカット」「シンメトリー」等、その多彩なオリジナルカットの技術で数多くの受賞歴を持つ宝石研磨士だ。



引き出す知識と技が必要となる。山本武は、「シェルカット」「ナチュラルカット」「クロスオーバーカット」「シンメトリー」等、その多彩なオリジナルカットの技術で数多くの受賞歴を持つ宝石研磨士だ。

研磨を「アート」として捉えているという山本は、芸術的なカットの技術同様、色の価値にも重きを置いている。「カットというのは、手段であって目的ではありません。目的は色石の場合、いかにいい色を出すかです。原石のどこをテーブル面にするかで価値が決まっちゃうんですよ。どんなにいいカットを切ったって、色が良くなければ駄目なんです。」

## @仕事と学業の両立

昭和11年生まれ。中学卒業後、家計を助けるために働いてほしいという親の願いを受け入れた山本は、定時制高校に通わせてもらうことを条件に、叔父の営む研磨工場で働き始める。以前は優しかった叔父の親方としての顔は大変厳しく、10年かかって覚える仕事を1年で覚えるように言われ、さらに2年目からは工場の管理も任された。その一方、高校では大学進学を勧められ、仕事を辞めて学業に専念したい思いも湧いたという。しかし、その度叔父の説得にあい仕事と学業の両立を続けた。

そして、23歳で独立。当初はガラスのアクセサリを制作していた。



「甲府の研磨は戦後ガラスから始めていて、ほとんどの工場がガラスを扱っていました。」天然石へ移行したのは昭和40年頃。山本は、アメリカへ輸出する水晶を扱い、徹底的に能率を上げることを考え仕事をした。

## @イノベーションする

「研磨は手作業で根気のいる仕事ですけれど、私の中で研磨をどう捉えているかという、知識労働として捉えています。だからイノベーション（技術革新）するしか道はないんです。」毎年新しい作品を制作している山本は、絶えず進化しながら物作りを続けることの大切さをそう説く。そして、すべての物には絶対にその人の知性が現れるそうだ。

美しく研磨された山本の作品を見た人は、その石をあったかいという。「あったかい物がいい。人間の心に訴える物。あったかさが大事だと思うんですよ。完全無欠な物を人間は作れないんです。ただ、一番必要なのは完全無欠に向かって努力する、その努力の姿が人を動かすんじゃないですかね。」知性を磨き、革新し続ける、その姿勢は山本の作品をより美しく輝かせる。



## 宝石研磨士 山本 武 (宝石研磨)

昭和11年生まれ。中学校卒業後、叔父である山本甲子一氏に師事。昭和62年に一級宝石研磨士、平成9年に山梨県ジュエリーマスターに認定。

## 山本 武氏による実演及び体験指導

1月10日（日）に同氏による実演及び体験指導が実施されます。実演の内容は代表作の一つである「蜂の巣カット」。お気軽にお立ち寄りください。



次回「原型職人 小池正三」2016年1月発行予定